

# よりレベルの高い教育をめざします 城北中学校

〒174-8711 東京都板橋区東新町2-28-1 ☎(03)3956-3157 FAX(03)3956-9779  
ホームページ <https://www.johoku.ac.jp>

校長 小俣 力

男子校

## 教育方針

深井鑑一郎先生、井上源之丞両創立者の提唱した建学の精神を堅持し、青年期の人間形成と大学進学指導の徹底が本校教育方針の二本柱です。

人間形成においては、「着実・勤勉・自主」の校訓の実行を目標として有為なる青年の養成をめざし、広々とした校地・諸施設・緑豊かな環境を最大限に活用して、学習・課外活動の両面から自立的な人格の形成を図り、各自の個性伸長を努力目標とし、実社会においてリーダーシップを発揮できる力を養っています。

## 中高一貫教育の実践

平成16年から中学7クラス、高校9クラス編成による中高一貫主体の体制になりました。この一貫教育は、本校独自の3期指導体制のもとで進められています。最初の2年間を基礎期、つぎの2年間を鍛成期、最後の2年間を習熟期として3期制をとり、通常の中学・高校とは異なる編成で行っています。

英・国・数の主要科目については授業時間を増やし、基礎期では中学各教科の基礎力と応用力を身につけます。鍛成期の中3年にあたる時期から高校の教科内容の学習に入り、習熟期になると各自の適性に合わせた多様なカリキュラムの下で、志望大学をめざします。また、音楽、美術など情操教育や課外活動のための施設、行事も充実しています。

## 豊かな学園生活のために

本校は35,000m<sup>2</sup>の校地に32,000m<sup>2</sup>におよぶ全館空調完備の中学棟、高校棟を構え、その中に充実した特別教室、大小16のゼミ室、理科フロア、進学センター、図書館などを備えています。また、コモンスペース等の生活スペースのゆとりも重視したものとなっています。25m7コースの室内温水プール、バスケットコート2面のメインアリーナ、卓球場、トレーニング場、体育館としても機能する多目的ホールなど体育施設面も充実しています。さらに放送スタジオ、最新機材の整った視聴覚室、昨年度、各教室に65インチ大型モニターが設置されました。



## 受験生へのメッセージ

中学・高校時代は、子供から大人に脱皮する時期です。親の保護の下にある自分ではなく、何事に対しても自分が主役となるよう、社会性や創造性、人間性を高め、正しい判断ができるよう、責任を自覚できるようにならねばなりません。

本校の校訓である「着実・勤勉・自主」はそれらの実現のために、各自がしっかりとげんでいく目標を示したもので。

積極的に自己の可能性、創造性をはつらつと追求していく生徒集団。これが本校の求める生徒像です。そうした城北で自分を磨いてみませんか。



## 学校を訪問してみよう！

### 学校説明会(要予約)

10月12日(土)13:30～  
※2月22日(土)13:30～  
※小学4・5年生対象

### 入試説明会(要予約)

11月23日(土祝)10:00～  
11月30日(土)13:30～  
※両日とも同じ内容です。

### クラブ公開(要予約)

9月14日(土)・11月16日(土)  
午後開催、詳細は  
HPにて公開します

### 文化祭(見学は自由)

9月28日(土)・9月29日(日)  
「受験相談コーナー」設置

### 施設見学会(要予約)

12月14日(土)13:30～  
12月15日(日)10:00～  
※自由研究展示コーナーあり

### 募集要項(2020年度)(予定)

	1回目	2回目	3回目
募集人数	約115名	約125名	約30名
試験日	2月1日(土)	2月2日(日)	2月4日(火)
願書受付	1/10～1/30 ※全日程インターネット出願	1/10～2/1 ※全日程インターネット出願	1/10～2/3 ※全日程インターネット出願
試験科目	国語・算数・社会・理科		
合格発表	2月1日(土) 19:00	2月2日(日) 20:00	2月4日(火) 19:00
入学手続 〆切	2月4日(火) 14:00	2月4日(火) 14:00	2月5日(水) 16:00

## 特別企画



安田教育研究所

# 安田 理先生の学校探訪!



保護者がわが子を男子校に入れようと考える理由の上位2項目が「学習指導」と「大学進学」である。そのため男子校はどこも大学進学教育に大変力を入れるのがふつうだが、実際の学校は、幼いまま入学していくケースが多いので、「大人に成長させる」ことに力を入れているケースが多い。とりわけ城北からは「人間的成長」に心を砕いていることを感じさせられる。



### ●オーストラリア語学研修

中3と高1の希望者を対象に、オーストラリアで15日間過ごす語学研修もある。ホームステイしながら大学で英語の勉強をし、地元の小学校の児童、ハイスchoolの生徒とも交流する。これもコミュニケーション力の向上を重視している。

### ●ターム留学

さらには4か国の中3から選ぶターム留学も始めている。高1の3学期を海外で過ごす。現地の高校で英語以外の教科も学ぶ。

3か月も保護者から離れていると、「自分のことは自分でするようになった」「言わなくてもやるようになった」と、保護者が驚くほど変わること。

海外に出なくても、入学後すぐに行われる長野の大町山荘でのオリエンテーション合宿では、共同生活を通じて仲間づくりの経験をする。

また、昨年の体育祭はCNNが取材に来た。棒倒し、騎馬戦、100m走…。映像を見せてもらったが、冒頭に述べたような軟な男の子が見事にたくましくなっていることに驚いた。

## 行事があれば必ず発表

城北は行事を大切にしている学校である。「自由研究発表会」はなんと33年目になる。「私の主張コンクール」、先の「ターム留学報告会」ほか、校外学習のたびにグループ発表させる。男子が弱い発信力、プレゼン力の向上に努めているのだ。

## 高校入学生がいることの刺激

高校募集を停止する学校が続いている中、城北は高校からの受け入れを継続している。

・家庭環境が異なる生徒の存在がもたらす社会への視点の深さ

・受験勉強を経てきたばかりの仲間の学びの姿勢

・大人っぽくしっかりした姿勢

・女の子についての情報

さまざまな点で内進生には刺激になる。こんなところも城北の魅力ではないだろうか。



校長 小俣 力